

千葉市感染症発生動向調査情報

2023年 第28週 (7/10-7/16) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	定点	28週	27週	26週	25週	
上段: 患者数 下段: 定点当たりの報告数 「定点当たりの報告数」とは 報告数/報告定点数	小児科	17	18	18	18	*正式名称は インフルエンザ/COVID-19定点
	眼科	5	5	5	5	
	*インフル/COVID	27	28	28	28	
	基幹	1	1	1	1	

定点	感染症名	注意報	千		葉		市		千葉県
			7/10-7/16	7/3-7/9	6/26-7/2	6/19-6/25	7/3-7/9		
			28週	27週	26週	25週	27週		
小児科	RSウイルス感染症		9	23	35	20	275		
	咽頭結膜熱		5	6	9	0	82		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		10	9	14	11	194		
	感染性胃腸炎	↓	149	171	233	194	633		
	水痘		0	0	0	1	5		
	手足口病		9	16	13	30	102		
	伝染性紅斑		1	0	0	0	4		
	突発性発しん		7	4	7	9	19		
	ヘルパンギーナ	★★○	225	228	180	166	1126		
	流行性耳下腺炎		0	1	2	1	10		
*インフル/COVID	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	◎	54	22	31	37	181		
	新型コロナウイルス感染症	→	214	221	182	161	2243		
眼科	急性出血性結膜炎		1	0	0	0	0		
	流行性角結膜炎		0	0	1	0	19		
基幹	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0		
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0		
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0		
	無菌性髄膜炎		0	1	0	0	1		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0		

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

「流行中」 流行発生警報開始基準値以上

「やや流行中」 流行発生注意報基準値以上、又は流行発生警報開始基準値を下回った後に流行発生警報終息基準値以上

2 全数報告対象疾患: 8 例

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
腸管出血性大腸菌感染症	女性	40歳代	病原体の分離・同定及びベロ毒素の確認	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	男性	70歳代	病原体の分離・同定及び薬剤耐性の確認
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	男性	70歳代	病原体の分離・同定		男性	70歳代	病原体の分離・同定、薬剤耐性の確認及び起病菌の判定
梅毒	女性	20歳代	血清抗体の検出		男性	80歳代	
	女性	80歳代			女性	100歳代	
				-	-	-	-

・第28週は、腸管出血性大腸菌感染症1例(9)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症4例(16)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(4)、梅毒2例(41)の発生届があった。

※ ()内は2023年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第28週のコメント

<感染性胃腸炎>

前週よりやや減少し8.76となった。過去10年の同時期と比べると最多のままで、年齢階級別の報告数は1歳で最多。区別では、若葉区(22.00)で流行発生警報開始基準値(20.00)を上回り最多で、同区の4歳の報告が最も多かった。他に緑区(19.50)で流行発生警報終息基準値(12.00)を上回った。

<ヘルパンギーナ>

前週よりやや増加し13.24となった。流行発生警報開始基準値(6.00)を上回ったままで、過去10年で最多のまま。年齢階級別の報告数は3歳で最多。区別では、稲毛区(27.33)で流行発生警報開始基準値を上回り最多で、同区の3歳の報告が最も多かった。他に、緑区(19.50)、中央区(9.33)及び若葉区(9.00)で流行発生警報開始基準値以上となり、花見川区(5.50)及び美浜区(2.67)で流行発生警報終息基準値(2.00)を上回った。

<インフルエンザ>

前週より増加し2.00となり、再び流行開始の目安とされる1.00を上回った。過去10年の同時期と比べると最多のままで、年齢階級別の報告数は9歳で最多。区別では、中央区(6.60)で最多で、同区の6歳の報告が最も多かった。なお、同区では1歳から70歳代までの幅広い年齢階級で発生報告があった。

<新型コロナウイルス感染症>

前週からほぼ横ばいで7.93となった。区別では、中央区(16.20)からの報告が最も多かった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2023.pdf>

・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2023.pdf